

2021-2022

第 24 号

秋田大学情報統括センター広報



Center for Information Technology and Management

Akita University

表紙写真：

一般教育 2 号館から見た情報統括センターの外観

目次

巻 頭 言 DX のその先へ

情報統括センター長 水戸部 一考1

オンラインミーティングツール「ZOOM」の利用状況について

情報統括センター 横山 洋之.....3

体育館への無線 LAN アクセスポイント新設について

情報統括センター 小林 俊央.....7

新型コロナウイルス感染対策の取り組み

情報統括センター 鷺谷 貴洋.....11

情報統括センター利用状況（令和 2・3 年度）14

令和 2・3 年度時間割 25

庶務日誌 令和 2・3 年度37

● 編集後記 ● 40

巻 頭 言



DX のその先へ

情報統括センター長
水戸部 一孝

2021 年 3 月 24 日に内閣府から発表された「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」において Society5.0 の実現に必要な要素の 1 つとして、「サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革」が掲げられておりますが、秋田大学はその一部分を先取りして実現しているのではないかと思います。新型コロナウイルスの第 6 波に備えた緊急対応でもデジタル技術を活用して授業を継続しており、特に慌てることもなく ZOOM や WebClass 等を活用してリモートで出欠確認や授業、試験など、臨機応変に対応されたり、Microsoft365 の TEAMS を利用して自宅や職場からエクセルやパワーポイントを学生と一緒に修正したりと、デジタルを当たり前の道具として文系・理系の区別無く使いこなされています。今まさに秋田大学は、デジタルに合わせて仕事のやり方を変えたり工夫したりするデジタルイゼーション(Digitalization)の途上におり、デジタル化したことで新たな価値を生む DX(Digital Transformation)の入口に立っているのだと思います。

学外に目を向けてみますと、デジタルを活用した多様な働き方が浸透しはじめており、首都圏から遠く離れた地の利に乏しい秋田県は大きなチャンスを迎えています。秋田県が策定中の「秋田県 DX 推進計画」では、地道にデジタルイゼーションを進め、「秋田の特色×デジタル」で新たな価値を創設・支援したり、近い未来には秋田に暮らしながら国内外で働いたり、遊んだりする未来像が描かれています。それを支える技術の 1 つがメタバース(Metaverse)です。今後、メタバースは小説やテレビドラマあるいはゲームの様なフィクションをあたかも現実であるかのようにリアルに疑似体験できる娯楽の一つとして、定着していくのではないかと私は考えています。そして、個人のアイディアが価値を生むサイバースペースを活かしたコンテンツ制作は秋田県内の中小企業にも適したビジネスであると期待しています。メタバースの世界で制作者として新たな価値を創り出せる人材は、文化や芸術が好きで自由に発想し表現できる文系的要素の高いヒトかもしれません。そもそも、文系・理系の区別があるのは日本だけなのですが、文系×デジタル、あるいは理系×芸能など、多様性を備えたヒトが Society5.0 で新たな価値を創造できる人材なのではないかと私は考

えています。一方、理系人材は、メタバースのシステム開発に加え、現実世界の物理・化学現象や論理的な機序を仮想世界に忠実にシミュレーションするデジタルツイン(Digital Twin)での活躍が期待できます。

山本文雄学長の主導の下、2022 年度には全学のデータサイエンスと AI の教育研究用ツールの導入が計画されており、2023 年度には秋田大学のデジタル教育・研究の拠点となる情報教育研究施設である新棟の設置も計画されていて、そこでは、従来の PC 実習に加え、XR 教材で学んだり制作したりできる環境も整備される予定です。あなたの専門性×デジタルで Society5.0 を主導していただくための裏方として、情報統括センターでは学内の通信インフラとセキュリティの向上に尽力して参りますので、引き続き御理解と御支援の程、どうぞ宜しくお願いします。

オンラインミーティングツール「ZOOM」の利用状況について

情報統括センター 副センター長（専任教員）

横山 洋之

概要

2019 年末に新型コロナウイルス感染の状況が深刻化し、翌 2020 年 5 月からは授業を全面的にオンラインで実施する状況でありました。本学ではオンライン授業のツールとして、WebClass、Microsoft365、ZOOM の 3 つを主に利用して実施してきました。オンライン授業開始当初は授業担当の方々（私も含め）失敗と試行錯誤の連続であったと思います。それからほぼ 2 年経過し、新型コロナウイルスの脅威はいまだに続いておりますが、オンライン授業については、弊所への問い合わせもほとんど無くなっている状況からも、だいぶ定着してきているのではないかと感じられます。



普段、ZOOM ミーティングを主催すると、そのミーティングについての状況は把握できますが、学内全体の状況について情報を得る機会は少ないと思います。そこで本稿では、管理側からどのような情報が得られるのかを含め、オンラインミーティングツールである「ZOOM」の本学での利用状況についてご説明します。

管理者用ダッシュボード

管理者には「ダッシュボード」と呼ばれる管理画面が用意されています（図 1）。ダッシュボードでは、ZOOM の利用概況が分かりやすいように各種情報が 1 画面にまとめられており、ユーザ数、ミーティング開催数、クラウドストレージ使用量、ミーティング時間の多いトップ 10 ユーザ、期間のミーティング数推移、接続元の国、ユーザのデバイス種類、などの情報が得られます。



図 1 ダッシュボード画面

図 2 は過去 12 カ月のユーザデバイス種類の割合を示したグラフで、最も多いのは Windows (76%)、次いで Mac (9%)、iOS (7%) の順となっております。やはり授業の視聴は PC で行われている状況がうかがわれます。図 3 は参加者の国を示すグラフで、国内は当然ですが、アジア各国、米国など国外からの参加があります。

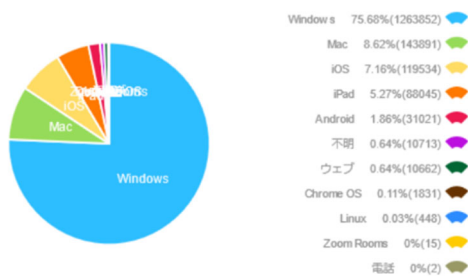


図2 ユーザデバイス種類

1	日本	1642413
2	中国	7556
3	米国	7430
4	インドネシア	1828
5	タイ	1586
6	マレーシア	1534
7	大韓民国	1531
8	台湾	1222
9	スウェーデン	751
10	イスラエル	750

図3 参加者の国

また、ダッシュボードでは詳しいミーティングの状況を見ることが可能で、現在行われているミーティング一覧（図4）、過去に開催されたミーティング一覧が表示できます。ミーティング一覧からは、各ミーティングの参加者や、接続時間など詳細な情報が得られます。更に参加者に関して接続環境と、参加中にネットワークの帯域をどれだけ使用したか、音声、ビデオ、画面共有についてグラフにより表示可能で、トラブルの際の原因究明の手掛かりになります（図5）。

ライブミーティング 開催中のミーティング

11 ミーティングの開催中

ユーザー名、メール、グループ、ミーティングID、トピック

ミーティングID	トピック	ホスト	開始時刻	参加者数	音声	ビデオ	画面共有	接続	CPU	備考
912-001	学生・卒業生・教職員向けミーティング	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	1	○	○	-	-	-	-
912-719	新入生オリエンテーション	Yamada Akane	2022年07月25日 10:30 PM	3	○	○	-	-	-	○
961-499	64年度 第1回エグゼクティブ会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	7	○	○	-	-	-	○
912-124	令和4年度第1回教職員会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	13	○	○	-	-	-	○
912-138	令和4年度第1回学生会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	5	○	○	-	-	-	○
912-076	教職員・学生向けミーティング	Yamada Akane	2022年07月25日 10:30 PM	3	○	○	-	-	-	○
961-055	第1回教職員ミーティング	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	3	○	○	-	-	-	○
961-147	令和4年度第1回学生会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	12	○	○	-	-	-	○
961-171	令和4年度第1回教職員会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	2	○	○	-	-	-	○
912-090	令和4年度第1回学生会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	7	○	○	-	-	-	○
961-190	令和4年度第1回教職員会議	佐々木 大輔	2022年07月25日 10:30 PM	1	○	○	-	-	-	○

図4 ミーティング一覧



図5 ユーザ個別の接続状況

本学での利用状況

本学では約 600 の ZOOM アカウントを利用しています。図6は2020年7月から2022年2月までのミーティング開催回数の推移を示しています。学生の休業期間や一時的な新型コロナウイルスの感染状況もあり、開催回数は時期により大きく変動している状況が示されています。およそ1日あたり100件程度のミーティングが開催されていると考えられます。2020年度より2021年度で開催数が多い傾向にあり、ZOOMの利用が定着してきたためではないか

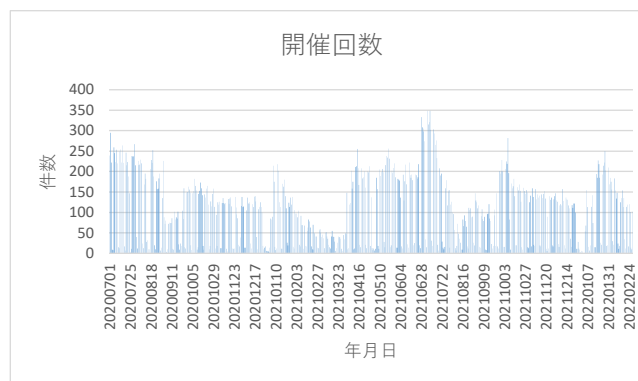


図6 ミーティング開催回数の推移

と考えられます。

図7は、同じ期間のミーティングの総参加者数の推移を示しています。参加者数はほぼミーティング開催回数に連動しており、1日あたりおよそ2000～4000人（重複あり）の参加があると考えられます。

図8は、参加者数をミーティング数で割り、1ミーティングあたりの参加者数について推移を示したグラフです。試験時期と推察されますが、スパイク状に参加者が突出する日がみられます。これは普段はオンデマンドで授業参加している学生が相当程度いることを示していると考えられます。

図9は、ミーティング開催時間（分）について、時間別の頻度分布を示したグラフです。最長のミーティングは1400分（23時間）超で、10時間を超えるミーティングが幾つかありましたが、グラフでは360分までの分布となります。ちなみにZOOMは24時間でミーティングが切断されます。やはり、授業時間の100分が最も多く、それより短い時間のミーティングが大部分であることが分かります。

まとめ

本学でのZOOMの利用状況について概要をご紹介しました。新型コロナウイルス感染状況により、オンライン授業と対面授業が頻繁に入れ替わるという状況ですが、これほどネットワークを利用するという状況は数年前までには考えられないことでした。プライバシーや著作権、学習効果といった様々な問題を克服しながらのオンライン授業ではありますが、メリット、デメリットが経験値として蓄積されてきていると感じます。

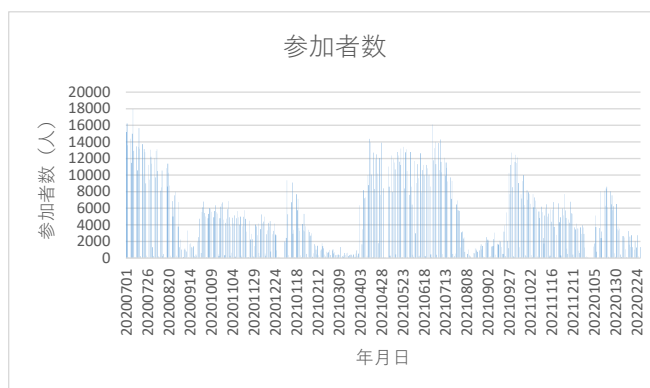


図7 参加者数の推移

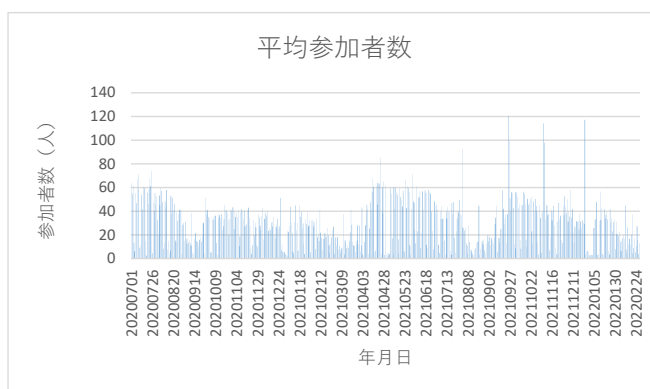


図8 平均参加者数

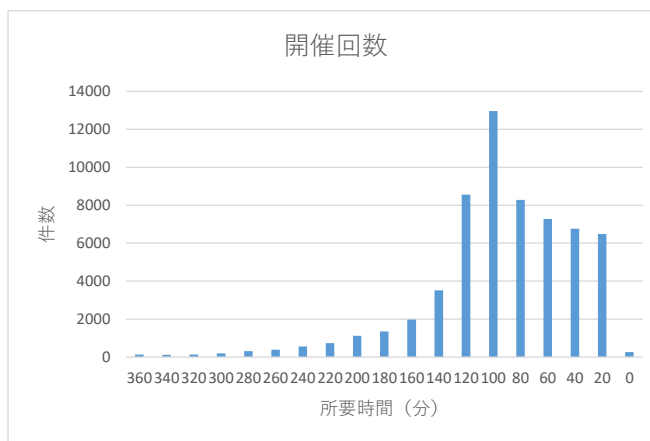


図9 ミーティング所要時間の分布

ZOOM は、ネットワークセキュリティ強化、フォーカスモードやアバターモードなどユーザ体験を強化する機能の実装など進化しております。他のオンラインツールも進化しております。センターでは今後もこれらの各種ツールが有効活用できるようにサポートして参ります。

体育館への無線 LAN アクセスポイント新設について

情報統括センター 技術専門職員

小林 俊央

1. はじめに

令和 3 年 3 月に、秋田大学手形キャンパスに設置されている本学の体育館（大体育館及び小体育館）に無線 LAN アクセスポイントを新設しました。新型コロナウイルスの影響により、授業をオンラインで行う機会が増えて、体育館で授業を行う教員の方から体育館におけるキャンパス Wi-Fi 接続環境（情報統括センターで管理を行う無線 LAN アクセスポイントによる Wi-Fi 接続環境）の要望が出ていたことや、災害時等に体育館でもキャンパス Wi-Fi 接続ができるようにすることについて検討を行っていたこともあり、設置作業を行いました。また、令和 4 年 2 月には秋田大学本道キャンパスに設置されている医学部体育館にも無線 LAN アクセスポイントを新設しました。ここでは、手形キャンパスの体育館及び本道キャンパスの医学部体育館への無線 LAN アクセスポイント設置状況について紹介します。

2. 体育館への無線 LAN アクセスポイント新設

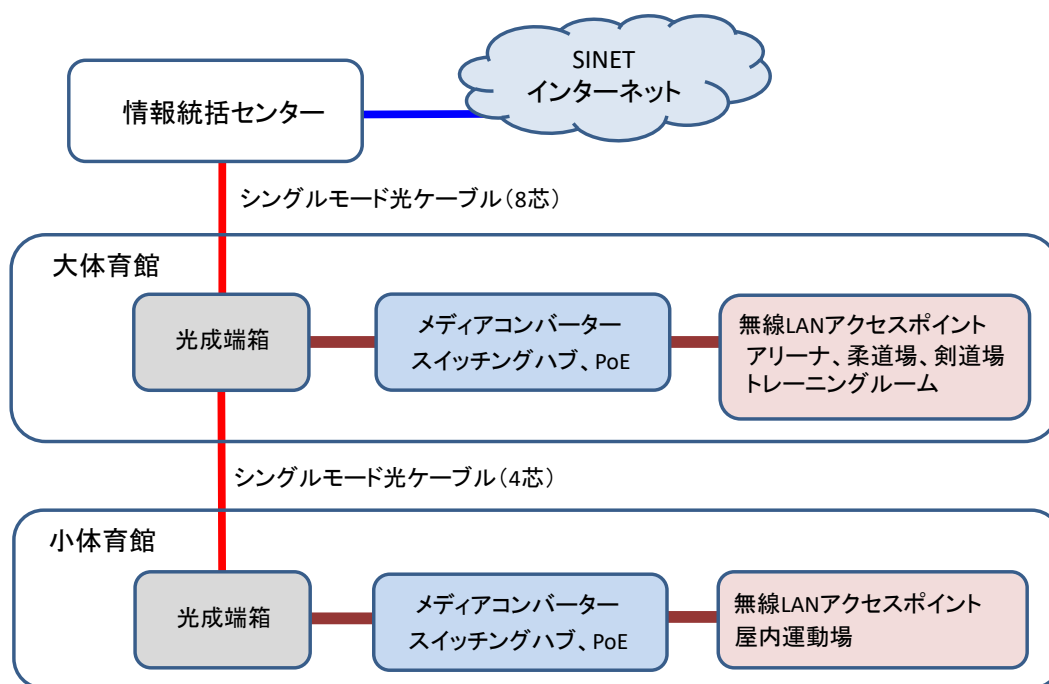


図 1 体育館（手形キャンパス）光ケーブル配線及び無線 LAN
アクセスポイント設置概要図

手形キャンパスの体育館（大体育館及び小体育館）には学内ネットワークの配線が全くされていない状態で、ネットワーク利用ができない状態だったため、光ケーブルの敷設から行うこととなりました。光ケーブルの敷設は大体育館及び小体育館から情報統括センター間を直接接続する形にして、大体育館のアリーナに 2 台、柔道場に 1 台、剣道場に 1 台、トレーニングルームに 1 台、小体育館の屋内運動場に 2 台の無線 LAN アクセスポイントを設置しました。また、大体育館、小体育館に新設したネットワーク機器及び無線 LAN アクセスポイントについては無停電電源に接続する等、停電への対策を行いました。また、情報統括センターには非常用発電設備が設置されており、停電時も非常用電源によりネットワーク機器は稼働を継続してネットワーク接続は維持されます。このように、停電時でも大体育館、小体育館の無線 LAN アクセスポイントは起動できるようにして、ネットワーク回線接続先の情報統括センターも

停電時は非常用電源によりネットワーク機器は稼働してネットワーク接続は維持され、大体育館、小体育館では停電時もキャンパス Wi-Fi 接続ができるように整備を行いました。なお、情報統括センターで管理している無線 LAN アクセスポイントはコントローラー管理型で、大体育館及び小体育館に新設した無線 LAN アクセスポイントも、同じ無線 LAN コントローラーで管理する形になっています。また、設置した無線 LAN アクセスポイントは、IEEE802.11a/b/g/n/ac 規格に対応しています。

3. 医学部体育館への無線 LAN アクセスポイント新設

令和 3 年 3 月に、手形キャンパスの体育館（大体育館及び小体育館）への無線 LAN アクセスポイントの設置を行いました。令和 4 年 2 月には秋田大学本道キャンパスに設置されている医学部体育館にも無線 LAN アクセスポイントを新設しました。医学部体育館も手



図 2 無線 LAN アクセスポイント設置状況
(大体育館アリーナ)

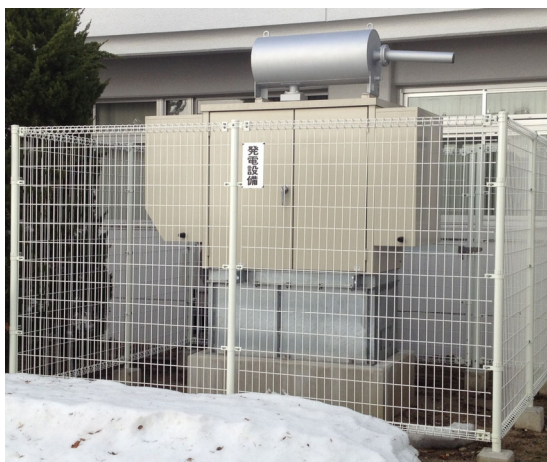


図 3 非常用発電設備（情報統括センター）

形キャンパスの体育館と同様に、学内ネットワークの配線が全くされていない状態で、ネットワーク利用ができない状態だったため、光ケーブルの敷設等ネットワーク整備から行いました。医学部体育館の体育室に無線 LAN アクセスポイント（IEEE802.11a/b/g/n/ac 規格対応）を 2 台設置しました。

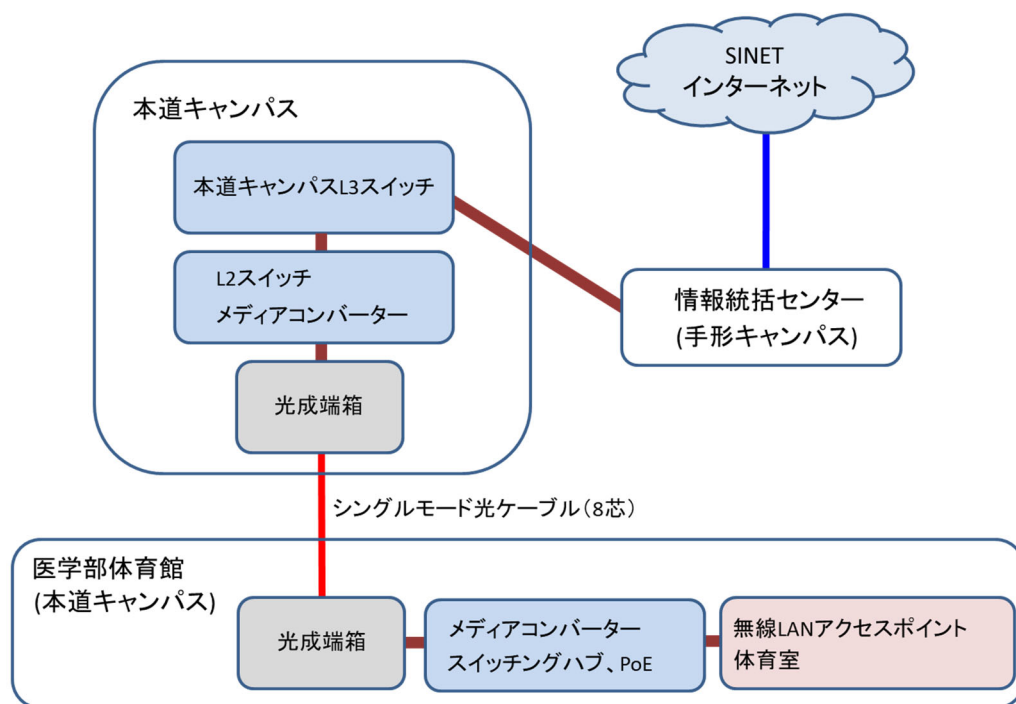


図4 医学部体育館（本道キャンパス）光ケーブル配線及び無線 LAN
アクセスポイント設置概要図

4. 無線 LAN アクセスポイントの増設

体育館（手形キャンパス）及び医学部体育館（本道キャンパス）への無線 LAN アクセスポイント新設の他に、令和2年度及び令和3年度は学内の以下の場所に無線 LAN アクセスポイント（IEEE802.11a/b/g/n/ac 規格対応）の増設を行いましたので、教育・研究にご活用下さい。

無線 LAN アクセスポイント増設場所

- ・ 国際資源学部1号館3階（2台）
- ・ 附属鉱業博物館3階（1台）
- ・ 教育文化学部2号館1階（1台）
- ・ 教育文化学部3号館1階（3台）
- ・ 教育文化学部3号館3階（1台）

-
- ・ 教育文化学部 5 号館 2 階 (1 台)
 - ・ 教育文化学部 5 号館 4 階 (1 台)
 - ・ 理工学部 1 号館 1 階 (1 台)
 - ・ 理工学部 3 号館 2 階 (1 台)
 - ・ 理工学部 5 号館 2 階 (1 台)
 - ・ 医学系研究棟 3 階 (2 台)
 - ・ 医学系研究棟 4 階 (1 台)
 - ・ 本道 40 周年記念会館 2 階 (2 台)
 - ・ 国際資源学部 1 号館 4 階 (1 台) ※
 - ・ リーディング講義実習棟 1 階 (1 台) ※
 - ・ 教育文化学部 3 号館 2 階 (1 台) ※
 - ・ 教育文化学部 4 号館 5 階 (1 台) ※
 - ・ 理工学部 1 号館 2 階 (1 台) ※
 - ・ 理工学部 7 号館 3 階 (1 台) ※
 - ・ 本道会館 1 階 (1 台) ※
 - ・ 中央図書館 2 階 (1 台) ※

※ 令和 4 年 3 月設置予定

5. 終わりに

手形キャンパスの体育館の作業では、体育館への光ケーブル敷設を行い、無線 LAN アクセスポイントの設置や災害対策だけではなく、大体育館の一室への情報コンセントの設置等も行い、体育館の建屋全体を考慮したネットワーク整備を行うことができたと思います。医学部体育館についても光ケーブル敷設を行い、ネットワーク整備を行うことができたと思います。今後も学内各所への無線 LAN アクセスポイントの増設等、学内ネットワーク環境の充実に努めたいと思います。

以上

新型コロナウイルス感染対策の取り組み

情報統括センター 技術専門職員

鷲谷 貴洋

令和2・3年度は新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により、生活様式が大きく変化しました。情報統括センターでも様々な感染対策に取り組みました。ここでは、令和2・3年度に情報統括センターがおこなった感染対策の取り組みを報告します。

1. センター入口

入口の自動ドアからエントランスホールに入ってすぐの場所に電動式アルコール噴霧器を設置しました。これは手をかざすと噴霧するタイプで、入退館の際に手を触れることなく消毒可能です。アルコール噴霧器のすぐ奥にはサーモカメラを設置し、入館者の体温を表示するとともに 37.5℃以上の発熱者に音声で警告する仕組みとなっています。



電動式アルコール噴霧器



サーモカメラによる体温表示



サーモカメラ本体

2. 事務室

エントランスホールのすぐ右側には事務室の受付窓口がありますが、窓口に吊り下げ型の飛沫防止シートを設置しました。訪問者との対応は飛沫防止シート越しで行っています。事務室の中には、各職員のデスク間に透明アクリル板を設置し、飛沫拡散の防止に取り組んでいます。



飛沫防止シートを設置した窓口



職員のデスクを区切るアクリル板

3. PC 実習室

各 PC 実習室入口にも電動式アルコール噴霧器を置き、入退室の際に消毒をお願いしました。実習室内は密を避けるために、必要に応じて使用禁止の PC を設けて一定の間隔を確保しました（2m、1m の 2 パターンで運用、写真は座席間隔 2m 対応時の様子）。使用禁止の PC には、それとわかるように貼り紙をしています。さらに、使用後は各人がキーボード・マウスの消毒を行えるように、消毒用アルコールとハンドタオルを PC 付近に配置しました。教員が使用する教卓は飛沫の飛散を防ぐために、透明のシートを正面に設置しました。これらの対策は授業利用する全ての実習室で行いました。



PC 実習室 1 の前のアルコール噴霧器



教卓の前の飛沫防止シート



2m 間隔運用時の PC 実習室 1



消毒用アルコールとハンドタオル

4. トイレ

トイレは飛沫防止のために、ジェットタオルを使用できないようにしました。さらにトイレの入り口付近にも PC 実習室同様にアルコール消毒液を設置しました。



サーモカメラによる体温表示

以上

情報統括センター利用状況（令和 2・3 年度）

1. PC 実習室利用状況

秋田大学では令和 2 年 4 月から全ての授業が遠隔講義に移行し、学生がキャンパスにいないという前例のない状況となりました。令和 2 年 10 月になって対面での授業が再開されましたが、利用可能な座席に制限を設けて間隔を確保しての授業となりました。なお、授業時間外の自習利用は再開できないまま令和 2 年度は終了しました。

翌令和 3 年度も引き続き座席間隔制限を設けながらの授業が行われました。自習利用については再開に向けて検討を重ねましたが、新型コロナウイルス第 5 波の影響もあり、前期中の自習利用再開は見送りとなりました。令和 3 年 10 月、全国の感染者数が減少してきたことを受けてやっと自習利用を再開できました。感染予防の観点から予約制とし、密を避けて席間隔を維持するために予約上限を設定しました。なお、本道キャンパスの本道 PC 実習室は、元来職員が不在で入退室者の管理や感染対策指導が難しかったため、ほぼ全ての期間で自習利用禁止となりました。

2 年間を通して大きく利用制限をしての運用となったため、従来と比べて大幅な利用者減となっています。

(1) PC 実習室概要

表 1 は情報統括センターが設置する実習用 PC の設置場所及び設置台数（教師卓を除く）です。なお、PC 設置台数／利用形態は平常時のものとなります。

建物	実習室名	PC 設置台数	利用形態
情報統括センター	PC 実習室 1	50 台	授業・自習
	PC 実習室 2	10 台	自習
	PC 実習室 4	20 台	授業・自習
	オープンスペース	9 台	自習・グループ学習
一般教育 2 号館	PC 実習室 A	90 台	授業
	PC 実習室 B	72 台	授業・自習
中央図書館		15 台	授業・自習
医学部実習棟・講義棟	本道 PC 実習室	140 台	授業・自習
医学図書館		5 台	自習

表 1 実習用 PC 設置状況

令和 2・3 年度はほとんどの期間で座席間隔を確保するため利用可能な席を制限しました。

感染状況に応じて席間隔 1m と 2m の 2 通りで制限し、制限時の利用可能台数は表 2 のようになりました。

建物	実習室名	利用可能台数 1m 間隔対応時	利用可能台数 2m 間隔対応時
情報統括センター	PC 実習室 1	35 台	13 台
	PC 実習室 2	利用不可	
	PC 実習室 4	20 台	6 台
	オープンスペース	利用不可	
一般教育 2 号館	PC 実習室 A	54 台	15 台
	PC 実習室 B	36 台	20 台
中央図書館		利用不可	
医学部実習棟・講義棟	本道 PC 実習室	72 台	35 台
医学図書館		利用不可	

表 2 利用制限時の実習用 PC 利用可能台数

(2) PC 実習室運用状況（令和 2 年度・令和 3 年度）

この 2 年間の授業での PC 実習室運用状況を表 3 にまとめました。多くの期間で席間隔制限を設けての運用となりました。

期間	運用方針
令和 2 年 4 月 5 日	利用禁止 (全学的に全ての授業が遠隔講義)
令和 2 年 10 月 1 日～	座席間隔 2m で授業
令和 2 年 11 月 1 日～	座席間隔 1m で授業
令和 3 年 4 月 6 日～	座席間隔 2m で授業、試験時は 1m 間隔
令和 3 年 10 月 18 日～	席間隔の指定をせず(可能な限り離す)
令和 4 年 1 月 17 日～	遠隔授業推奨、試験時は 1m 間隔で利用可能

表 3 令和 2・3 年度の PC 実習室運用状況

手形キャンパスの自習利用の状況は表 4 のようになります。総合学務課が入室管理を行っていた令和 2 年 4 月～9 月を除き、全ての自習利用は入退室時に管理簿へ記名してもらい記録に残しました。

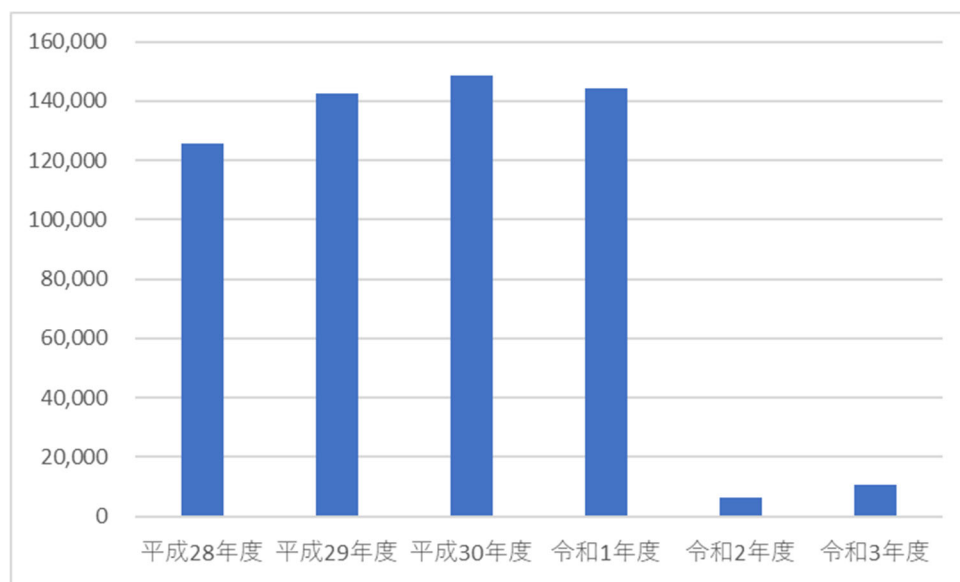
日付	自習利用状況
令和2年4月5日～	学生のキャンパスへの入構禁止 特別な事情でPC利用する学生の入室管理は総合学務課が担当
令和2年10月1日～	自習利用の原則停止 特別な事情で利用する場合は教員から情報統括センターへ申請が必要
令和3年10月1日～	予約制自習利用の試験運用 ・一部の授業を受講する学生を対象 ・専用フォームで事前予約が必要（7日前から前日まで） ・利用可能時間 8:50～16:00 ・一人一日1コマ（90分）まで ・平日（祝日のみ）
令和3年11月1日～	全ての学生を対象に予約制自習利用を開始 ・専用フォームで事前予約が必要（7日前から前日まで） ・利用可能時間 8:50～16:00 ・一人一日1コマ（90分）まで ・平日（祝日のみ）
令和3年11月8日	当日予約を可能に変更
令和3年11月22日	一人が一日に利用できる時間の制限を解除
令和3年12月1日	予約不要で自習利用可能に変更
令和3年12月20日～	夕方以降の利用を開始 利用可能時間を 8:50～21:00 に変更
令和4年1月4日～	夕方利用を停止、予約制に切り替え ・電話・メールでの予約推奨（予約なしの利用も可） ・県外への移動、感染者との接触がないことが利用条件 ・利用可能時間 8:50～16:00 ・平日（祝日のみ）

表4 PC実習室自習利用状況（手形キャンパス）

なお、本道キャンパスの本道PC実習室は管理上の問題から、ほぼ全ての期間で自習利用禁止を停止しました。県内の感染者がほとんどいなかった令和3年12月に、本格的な自習利用開始を検討し、数日間だけ自習利用の試験運用を行いました。しかし、令和4年1月にオミクロン株流行による第6波が到来したため自習利用は見送ることになりました。

(3) サインイン数の年度推移

グラフ 1 および表 5 は、全ての PC 実習室で合計した実習用 PC サインイン数の年度別集計結果です。令和 2・3 年度は例年に比べて大幅な利用者減となりました。



グラフ 1 年度別 PC 実習室サインイン数

年度	サインイン数
平成 28 年度	125,537
平成 29 年度	142,462
平成 30 年度	148,724
令和 1 年度	144,376
令和 2 年度	6,548
令和 3 年度	10,747

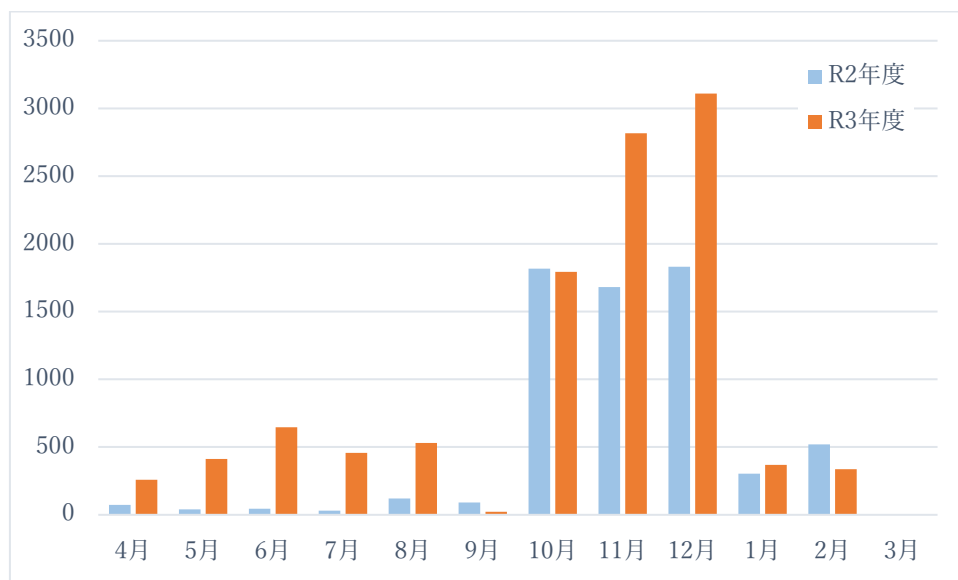
表 5 年度別 PC 実習室サインイン数

(4) 令和 2・3 年度サインイン数統計

グラフ 2 は令和 2・3 年度のサインイン数を月ごとに集計したグラフです。表 6・表 7 はそれぞれ令和 2 年度・令和 3 年度の教室別の詳細データです。

令和 2 年度前期は授業も自習も原則停止していましたが、申請により許可された特別利用者の利用がわずかにありました。また 4 月 4 日までの春休み期間は自習利用が可能だったため令和 2 年 4 月に約 70 件の利用が計上されています。令和 2 年 10 月以降は対面の授業が再開されたため利用者が増加しましたが、利用台数制限もあり例年に比べるとかなり少ない利用数となっています。

令和3年度は前期から授業利用が可能だったため4～8月の利用者は令和2年度を上回っています。令和3年11月～12月は席間隔の制限が撤廃されたため利用者が大きく増えました。しかし、新型コロナウイルス流行前はひと月に1万～2万回のサインインがあったことを考えると非常に少ない数字です。



グラフ2 令和2・3年度月別サインイン数

実習室 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
PC 実習室 1/4	57			1	57	7	162	153	400	88	46		952
PC 実習室 A/B		40	29	8	63	83	986	1211	1395	204	147		4166
本道 PC 実習室	16		15	21			669	316	36	11	326		1410
計	73	40	44	30	120	90	1817	1680	1831	303	519	0	6547

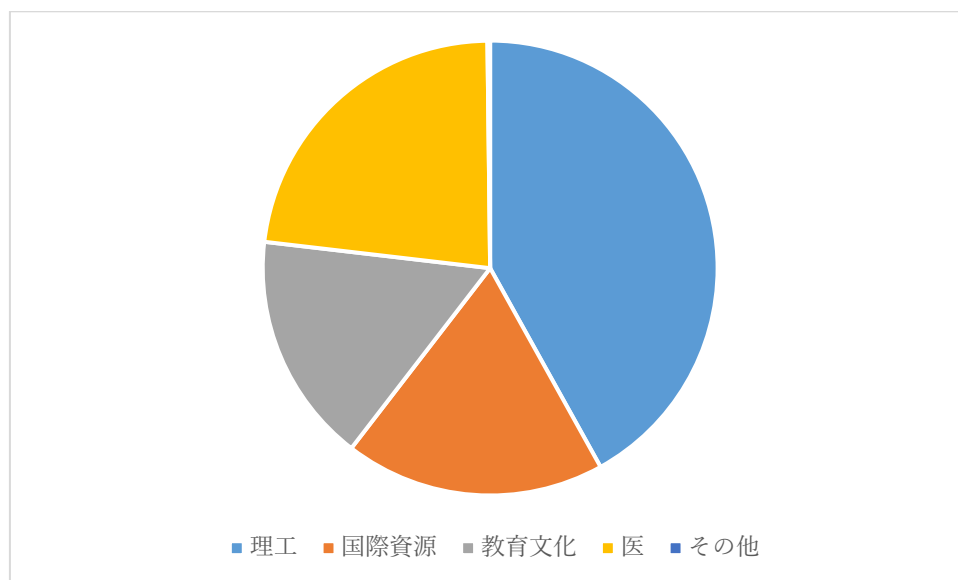
表6 令和2年度年間サインイン数（教室・月別）

実習室 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
PC 実習室 1/4	104	74	204	71	51	6	121	94	575	43	34	0	1377
PC 実習室 A/B	154	211	280	104	178	16	1063	1736	2339	110			6191
本道 PC 実習室	0	127	162	282	301	0	609	986	195	215	302		3179
計	258	412	646	457	530	22	1793	2816	3109	368	336	0	10747

表7 令和3年度年間サインイン数（教室・月別）

(5) 所属別利用者数

グラフ 3 は令和 2 年度利用者の所属学部（研究科）別の割合です。詳細な数値は表 8 となります。その他は聴講生や私費留学生などの非正規生です。

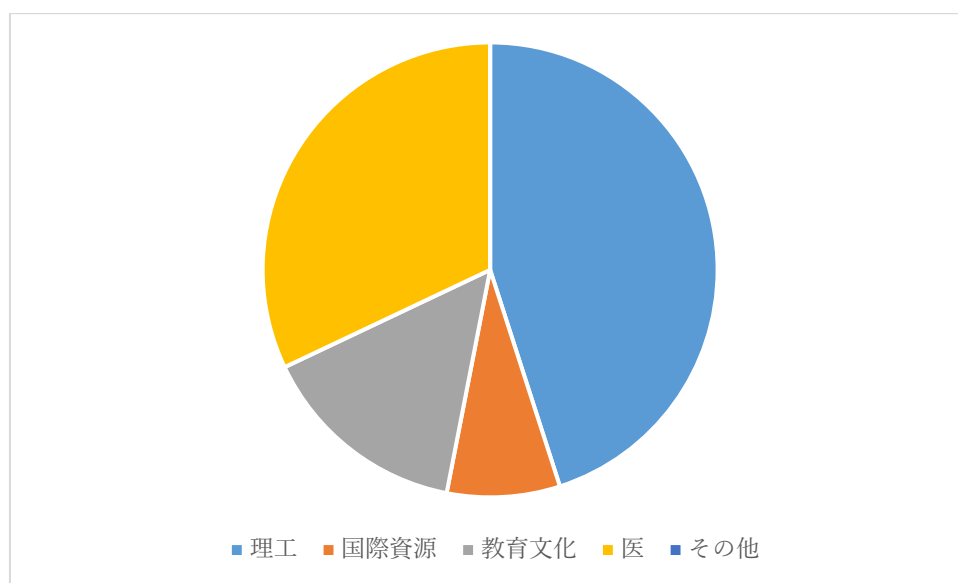


グラフ 3 R2 年度所属別サインイン数の割合

学部	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理工学部 (理工学研究科)		36	29	27	8	116	63	559	730	876	177	124		2746
国際資源学部 (国際資源学研究科)		3	5			4	4	217	249	638	43	49		1212
教育文化学部 (教育学研究科)		15	6				23	334	354	256	68	18		1074
医学部 (医学系研究科)		19		17	22			695	346	61	15	328		1503
非正規生		0						12	1					13
計		73	40	44	30	120	90	1817	1680	1831	303	519	0	6547

表 8 R2 年度サインイン数（所属・月別）

グラフ 4 は令和 2 年度利用者の所属学部（研究科）別の割合です。詳細な数値は表 9 となります。令和 3 年度は非正規生の利用はありませんでした。



グラフ 4 R3 年度所属別サインイン数の割合

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理工学部 (理工学研究科)	235	285	386	102	15	22	746	1229	1760	45	15		4840
国際資源学部 (国際資源学研究科)	0	0	95	68	0	0	70	55	529	27	19		863
教育文化学部 (教育学研究科)	23	0	3	5	3	0	343	538	608	78			1601
医学部 (医学系研究科)	0	127	162	282	512		634	994	212	218	302		3443
非正規生	0	0	0	0	0	0	0	0					0
計	258	412	646	457	530	22	1793	2816	3109	368	336	0	10747

表 9 R3 年度サインイン数（所属・月別）

(6) PC 実習室自習利用状況

令和 2 年 10 月以降の自習利用（利用停止期間の特別利用を含む）は、人の流れを把握するために入室管理を行い、入室者には利用管理簿への記載を求めました。この間の入室者数を利用管理簿への記載を元に集計しました。利用者の推移は表 10 のようになります。尚、令和 2 年 4 月～9 月は総合学務課が入室管理を行っていたため集計していません。また、令和 3 年 4 月～9 月は教員からの申請による受け入れ体制をとっていましたが、実際の利用は無かったため利用者数は 0 となっています。

令和2年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入室者数	29	7	7	4	4	0

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
入室者数	0	0	0	0	0	0	36	17	42	18	17

表10 PC実習室自習利用者の延べ人数（手形キャンパス）

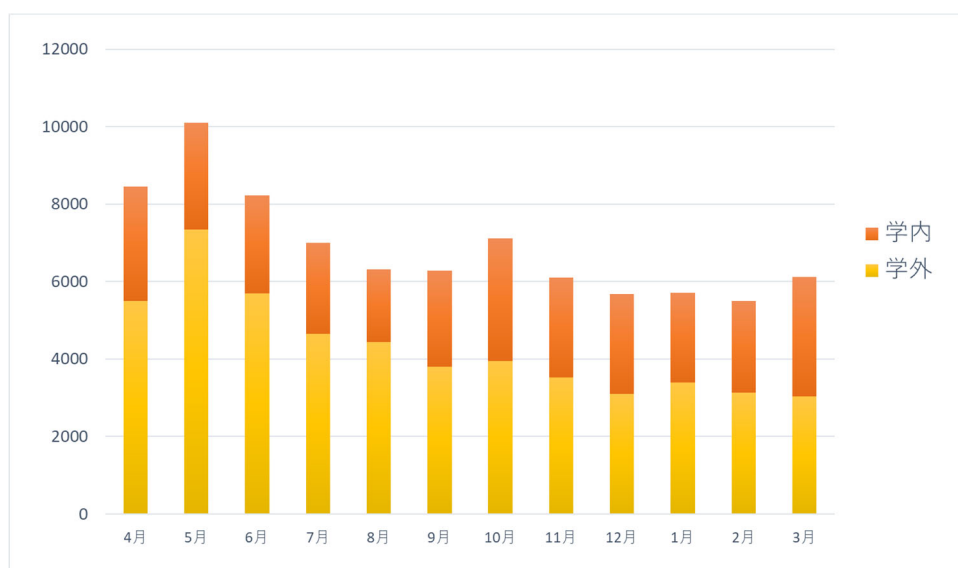
(7) プリンタ利用状況

令和2・3年度は感染対策のため、PC実習室のプリンタ運用は全面停止しました。従って利用はありませんでした。

2. センターWeb サイトのアクセス解析

令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 2 月 28 日までの情報統括センターWeb サイト (<https://www.gipc.akita-u.ac.jp/>) のアクセス解析です。

グラフ 1 とグラフ 2 は、令和 2 年度と 3 年度の情報統括センターWeb サイトにアクセスした人数を学内ネットワーク・学外ネットワーク毎に集計したものです。同じデバイス、ブラウザで同じ日に複数回アクセスしても 1 回としてカウントしています。



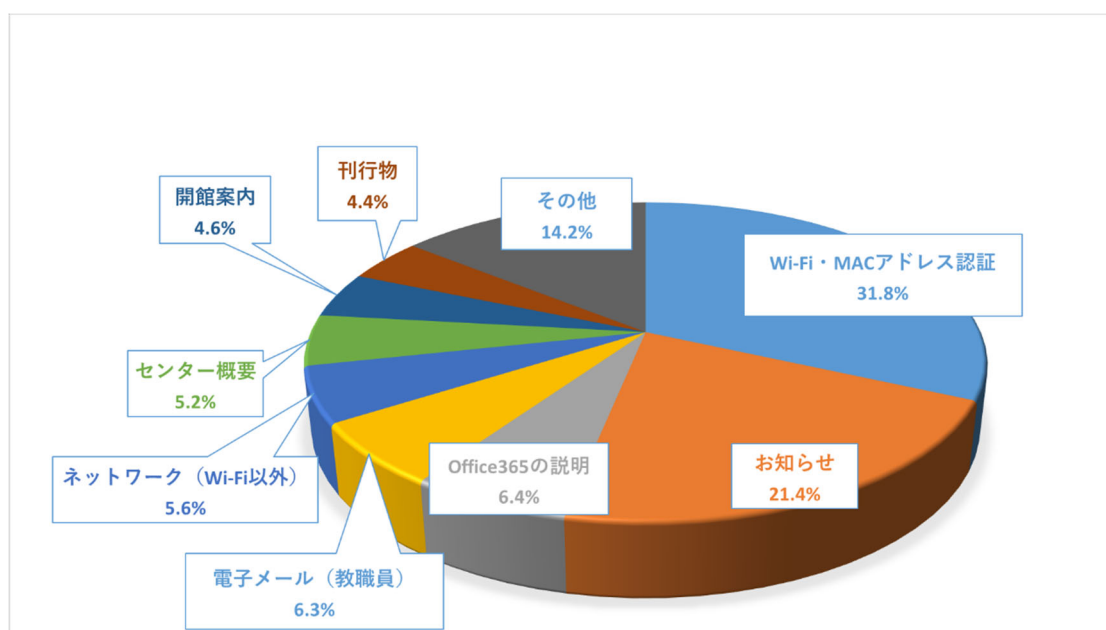
グラフ 1 月別アクセス者数（令和 2 年度）



グラフ 2 月別アクセス者数（令和 3 年度）

グラフ 3 は各ページのアクセス数をカテゴリで分けて合計した割合です。1 回の訪問で同じページを複数回開いても 1 回としてカウントしています。ただし、1 回の訪問で同一カテゴリ内の複数ページを閲覧した場合は閲覧したページ数がカウントされます。また、集計からホームページ（トップページ）、メニューページ、検索結果のページは除外しています。

アクセス割合を見ると、Wi-Fi 接続に関連した説明ページが最も多くなっています。新型コロナウイルスの影響で自宅待機が増えましたが、依然として Wi-Fi 接続の需要の高さがわかります。開館案内（センターの開館時間や PC 実習室の空席確認など）のページへのアクセスは、コロナ禍以前は 10～15%ほどありましたが、自習利用が大きく制限された影響で大幅に減って 5%を下回りました。



グラフ 3 ページカテゴリ毎のアクセス状況

3. 大判プリンタ利用状況 (2020 年 4 月～2022 年 3 月)

情報統括センターでは大判プリンタを 2 台 (EPSON PX-H9000・EPSON SC-T5450) 設置し、学会でのポスター作成や講演会での看板等の作成のため、学内教職員 (利用負担金支払い責任者が認めたもの) を対象に有料の利用提供を行っています。大判プリンタは、最大 B0 ノビサイズ (1118×1580mm) までのカラー印刷をすることができます。

用紙の種類、サイズごとの印刷枚数は以下のとおりです。

	A0	A1	A2	B2	立て看板	その他	計
フォト紙	6	5					11
厚手マット紙							
不織布							
普通紙	23	11	3	1		4	42
計	29	16	3	1		4	53

大判プリンタ利用状況 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)

	A0	A1	A2	B2	立て看板	その他	計
フォト紙	6					1	7
厚手マット紙							
不織布	5						5
普通紙	15	7				10	32
計	26	7				11	44

大判プリンタ利用状況 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

令和２・３年度時間割

※ この時間割は年初の予定を元にして作成しています。コロナ禍で遠隔講義に移行し、実際には PC 実習室で行われなかった授業や PC 実習室から配信のみを行い学生は入室しなかった授業も含まれます。

1. 令和２年度前期

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
月	1・2 時限 8:50～10:20	「情報処理 A/B」 (片平・高橋恵) 保健学科		「X 線結晶学」 (越後) 資源地球科学コース	
	3・4 時限 10:30～12:00				
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 C」 (中島) 数理・電気電子			
	7・8 時限 14:30～16:00	「計算機プログラミング I」 (河村) 電気電子工学コース			
	9・10 時限 16:10～17:40				
火	1・2 時限 8:50～10:20		「プレゼンテーション技法」 (上田) 地域文化学科		
	3・4 時限 10:30～12:00				
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 B」 (松本) 物質科学科			
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
水	1・2 時限 8:50～10:20	「マトリクス構造解析」 (後藤) 土木環境工学コース	「Information and Communication…」 (セリン) 数理・電気電子		
	3・4 時限 10:30～12:00	「情報処理入門 C」 (林良) 地域文化・学校教育	「情報処理入門 D」 (上田) 地域文化学科		「航空機構造力学」 (渋谷) 機械工学コース
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 D」 (佐々木芳・高橋良) システムデザイン工学科		「大学英語Ⅲ」 (TOEIC Seminar)」 (星) 理工学部	「バイオメカニクス特論」 (巖見) 機械工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00		「初年次ゼミ」 (藤原) 生命科学科	「プログラミング入門演習 B」 (佐々木重) 学校教育課程	
	9・10 時限 16:10～17:40				
木	1・2 時限 8:50～10:20	「地域統計技法」 (上田) 地域文化学科		「情報処理の技法 A」 (疋田) 生命科学コース	
	3・4 時限 10:30～12:00				
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理入門 A」 (上田) 学校教育課程	「情報処理入門 B」 (佐々木重) 学校教育課程		「制御工学特論」 (長縄) 機械工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
金	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～ 12:00	「情報処理の技法」 (川村) 国際資源学部			「医用生体工学」 (巖見) 機械工学コース
	5・6 時限 12:50～ 14:20	「資源開発環境実験」 (川村) 資源開発環境コース		「大学英語Ⅲ」 (TOEIC Seminar) (星) 理工学部	
	7・8 時限 14:30～ 16:00				【7～9 時限】 「機械工学実験」 (長縄) 機械工学コース
	9・10 時限 16:10～17:40				

2. 令和 2 年度後期

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
月	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00				「プログラミング 入門演習 A」 (佐々木重) 地域文化学科
	5・6 時限 12:50～14:20	10～11 月 「基礎情報学 B」(高橋秋)			
		12～2 月 「基礎 AI 学」(新屋)			
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40		「TOEIC 演習」 (長岡) 理工学部		

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
火	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「計算機プログラミングⅠ」 (河村) 電気電子工学コース			
	5・6 時限 12:50～14:20	10～11 月 「基礎情報学 A」(高橋秋)			「材料理工学実験Ⅰ」 (肖) 材料理工学コース
		12～2 月 「基礎 AI 学」(新屋)			
	7・8 時限 14:30～16:00	「情報教育実践論Ⅱ」 (上田) 学校教育課程	「情報教育実践論ⅠA・ⅠB」 (細川) 学校教育課程		
	9・10 時限 16:10～17:40	10～11 月 「基礎情報学」(白井)			
12～2 月 「基礎 AI 学」(白井)					
水	1・2 時限 8:50～10:20	10～11 月 「情報学入門」(白井)		「計算機プログラミング」 (藤井)	
		12～2 月 「AI 学入門」(白井)			
	3・4 時限 10:30～12:00	「地域統計学基礎 B」 (林良) 地域文化学科		資源開発環境コース	
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理工学・コンピュータシステム学」 (佐々木芳・巖見) 機械・創造工学コース		「応用化学実験Ⅳ」 (大川・加藤) 応用化学コース	「材料理工学実験Ⅰ」 (肖) 材料理工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00	「応用化学実験Ⅳ」 (大川・加藤) 応用化学コース			
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
木	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「コンピュータシミュレーション入門」 (上田) 全学部		「計算力学」 (渋谷) 機械工学コース	「プログラミング入門A」 (佐々木重) 地域文化学科
	5・6 時限 12:50～14:20	「ファイナンス」 (安達) 資源政策コース			
	7・8 時限 14:30～16:00	10～11 月 「基礎情報学 C」(高橋秋)			「古環境復元データ解析」 (オブラクタ) 資源地球科学コース
		12～2 月 「基礎 AI 学 C」(新屋)			
金	9・10 時限 16:10～17:40				
	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「ファイナンス」 (安達) 資源政策コース	「基礎統計学」 (伊藤) 国際資源学部		
	5・6 時限 12:50～14:20	「資源開発環境実験」 (川村) 資源開発環境コース			
	7・8 時限 14:30～16:00				【7～9 時限】 「機械工学・創造生産工学実験」 (高橋護) 機械工学・創造生産工学コース
	9・10 時限 16:10～17:40	10～11 月 「基礎情報学」(白井)			
		12～2 月 「基礎 AI 学」(白井)			

3. 令和 2 年度本道 PC 実習室

授業科目名	開設日・時間等	受講学生の所属・学年
情報処理 A	4～8 月 火 1・2 時限	医学科：1 年
情報処理 B	4～8 月 火 3・4 時限	医学科：1 年
情報分析学	6/12,7/3,7/10,7/17	保健学専攻：1・2 年
医用統計疫学基礎・演習	10/9,10/10	医学専攻：1 年
原因と病態	10/15,10/16,10/29,10/30, 11/12,11/13	医学科：2 年
生化学	1/13,1/20,1/27,2/3,2/10	保健学科：1 年
公衆衛生学	11/30～12/4	医学科：2 年
医療情報学	1/4～1/8	医学科：2 年

4. 令和 2 年度随時利用回数

PC 実習室名	前期	後期	計
PC 実習室 1	1	7	8
PC 実習室 4	0	0	0
PC 実習室 A	3	6	9
PC 実習室 B	3	12	15
本道 PC 実習室	21	19	40
計	28	44	72

5. 令和 3 年度前期

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
月	1・2 時限 8:50～10:20	「情報処理 A/B」 (片平・高橋恵) 保健学科		「X 線結晶学」 (越後) 資源地球科学コース	
	3・4 時限 10:30～12:00	「情報処理の技法 D」 (佐々木芳) システムデザイン工学科			
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 C」 (中島) 数理・電気電子			
	7・8 時限 14:30～16:00	「計算機プログラミング I」 (河村) 電気電子工学コース			
	9・10 時限 16:10～17:40	「初年次ゼミ」 (中澤) 地域文化学科			
火	1・2 時限 8:50～10:20		「プレゼンテーション技法」 (上田) 地域文化学科		
	3・4 時限 10:30～12:00	「数値計算 I・II」 (有川) 数理・電気電子			
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 B」 (松本) 物質科学科		「教養ゼミナール」 (五十嵐) 全学部	
	7・8 時限 14:30～16:00	【7-9 時限】 「応用プログラミング I」 (高橋秋) 人間情報工学コース			
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
水	1・2 時限 8:50～10:20	「マトリクス構造解析」 (後藤) 土木環境工学コース			
	3・4 時限 10:30～12:00	「情報処理入門 C」 (林良) 地域文化・学校教育	「情報処理入門 D」 (上田) 地域文化学科		
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理の技法 D」 (佐々木芳・網田) システムデザイン工学		「大学英語Ⅲ」 (TOEIC Seminar)」 (星) 理工学部	「バイオメカニクス特論」 (巖見) 機械工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00	【7-9 時限】 「基礎プログラミングⅠ」 (石沢) 人間情報工学コース	「初年次ゼミ」 (藤原) 生命科学	「プログラミング入門演習 B」 (佐々木重) 学校教育課程	
	9・10 時限 16:10～17:40				
木	1・2 時限 8:50～10:20	「地域統計技法」 (上田) 地域文化学科	「データベース基礎 Ⅰ・Ⅱ」(有川) 人間情報工学コース	「情報処理の技法 A」 (疋田) 生命科学コース	
	3・4 時限 10:30～12:00			「空間情報学Ⅰ・Ⅱ」 (有川) 数理・電気電子	
	5・6 時限 12:50～14:20	「情報処理入門 A」 (上田) 学校教育課程	「情報処理入門 B」(佐々木重) 学校教育課程		「制御工学特論Ⅰ・Ⅱ」 (長縄) 機械工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
金	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「情報処理の技法」 (川村) 国際資源学部			「医用生体工学」 (巖見) 機械工学コース
	5・6 時限 12:50～14:20	「資源開発環境実験」 (川村) 資源開発環境コース		「大学英語Ⅲ」 (TOEIC Seminar)」 (星) 理工学部	
	7・8 時限 14:30～16:00				【7-9 時限】 「機械工学実験」 (長縄) 機械工学コース
	9・10 時限 16:10～17:40				

6. 令和 3 年度後期

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
月	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00				「プログラミング入門 演習 A」(佐々木重) 地域文化学科
	5・6 時限 12:50～14:20	10～11 月 「基礎情報学 B」(高橋秋)			
		12～2 月 「基礎 AI 学 B」(新屋)			
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40				

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
火	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「計算機プログラミングⅡ」 (室賀) 電気電子工学コース			
	5・6 時限 12:50～14:20	10～11 月 「基礎情報学 A」(高橋秋)		「応用化学実験Ⅳ」 大川・加藤 応用化学コース	「材料理工学実験Ⅰ」 (肖) 材料理工学コース
		12～2 月 「基礎 AI 学 A」(新屋)			
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40	10～11 月 「基礎情報学」(白井)			
12～2 月 「基礎 AI 学」(白井)					
水	1・2 時限 8:50～10:20	10～11 月 「情報学入門」(白井)			「計算機プログラミング」 (サイド) 資源開発環境コース
		12～2 月 「AI 学入門」(白井)			
	3・4 時限 10:30～12:00	「地域統計学基礎 A」 (佐々木重) 地域文化学科	「地域統計学基礎 B」 (林良) 地域文化学科		
	5・6 時限 12:50～14:20	「応用化学実験Ⅳ」 (大川・加藤) 応用化学コース			「材料理工学実験Ⅰ」 (肖) 材料理工学コース
	7・8 時限 14:30～16:00				
	9・10 時限 16:10～17:40			「情報・AI 質問教室」 (高橋秋・新屋) 全学部	

曜日	時限	PC 実習室 A	PC 実習室 B	PC 実習室 1	PC 実習室 4
木	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00	「コンピュータシミュレーション入門」 (上田) 全学部		「計算力学」 (渋谷) 機械工学コース	「プログラミング入門A」 (佐々木重) 地域文化学科
	5・6 時限 12:50～14:20			「ファイナンス」 安達 資源政策コース	
	7・8 時限 14:30～16:00	10～11 月 「基礎情報学 C」(高橋秋)			「古環境復元データ解析」 (オブラクタ) 資源地球科学コース
		12～2 月 「基礎 AI 学 C」(新屋)			
9・10 時限 16:10～17:40		「データサイエンス 質問教室」(橋爪) 全学部			
金	1・2 時限 8:50～10:20				
	3・4 時限 10:30～12:00		「基礎統計学」 国際資源学部	「ファイナンス」 (安達) 資源政策コース	
	5・6 時限 12:50～14:20		「資源開発環境実験」 (川村) 資源開発環境コース		
	7・8 時限 14:30～16:00			「情報・AI 質問教室」 白井 全学部	【7-9 時限】 「機械工学・創造生 産工学実験」 (高橋護) 機械工学・創造生産 工学コース
	9・10 時限 16:10～17:40	10～11 月 「基礎情報学」(白井)			
12～2 月 「基礎 AI 学」(白井)					

7. 令和 3 年度本道 PC 実習室

授業科目名	開設日・時間等	受講学生の 所属・学年
情報処理 A	4～8 月 火 1・2 時限	医学科：1 年
情報処理 B	4～8 月 火 3・4 時限	医学科：1 年
組織学・組織学実習	4/22,4/28,5/6,5/13,5/20,5/27,6/10, 6/17,6/24,7/1,7/8	医学科：2 年
医用統計疫学基礎・演習	10/8,10/9	医学専攻：1 年
原因と病態	9/9,9/24,9/30,10/1,10/7,10/8,10/11, 10/14,10/15,10/21,10/22,10/28,10/29, 11/4,11/5,11/8,11/11,11/12	医学科：2 年
生化学	2/2	保健学科：1 年
衛生学・公衆衛生学	11/29～12/2	医学科：2 年
医療情報学	1/4～1/7	医学科：2 年

8. 令和 3 年度随時利用回数

PC 実習室名	前期	後期	計
PC 実習室 1	8	5	13
PC 実習室 4	6	1	7
PC 実習室 A	2	4	6
PC 実習室 B	1	6	7
本道 PC 実習室	21	21	42
計	38	37	75

庶務日誌 令和2・3年度

令和2年度

2020年	4月3日	授業開始→延期
	4月15日	遠隔授業説明会
	4月21～22日	TOPIC 総会（オンライン：専任教員・事務職員）
	4月22日	遠隔授業説明会-実践編-
	4月23日	ネットワークシステム運用定例会（ウェブ会議）
	5月11日	前期授業開始（遠隔授業）
	5月14日	情報基盤システム定例会（メール審議）
	7月2日	国立大学情報系センター総会（オンライン：専任教員）
	7月16日	ネットワークシステム運用定例会・ 情報基盤システム定例会（ウェブ会議）
	7月17日	TOPIC 幹事会（オンライン：専任教員・事務職員）
	7月30日	MATLAB セミナー（オンライン：教職員・学生対象）
	9月4日	文部科学省関係機関最高情報セキュリティ責任者会議 （オンライン：理事・センター長・専任教員・事務職員）・ 情報基盤システム定例会（メール審議）
	9月17日	MATLAB セミナー（オンライン：医学系教職員・学生対象）
	9月23日	情報セキュリティセミナー（オンライン）
	9月24～25日	NIPC 研究集会（オンライン：専任教員）
	9月25日	TDNOG 仙台（オンライン）
	9月28～29日	TOPIC ネットワーク担当者研修会（オンライン）
	10月22日	ネットワークシステム運用定例会（ウェブ会議）
	10月30日	高大接続教育フォーラム（センター長）
	10月30日	新 AU-CIS 運用管理者用説明会（オンライン）
	11月4～6日	文部科学省情報システム脆弱性診断（ペネトレーションテスト）
	11月20日	AU-CIS 説明会
	12月3日	第9回北海道・東北地区情報処理センター等技術担当者情報交換会（オンライン：技術職員3名）
	12月10日	戦略マネジメント層研修（センター長）

	12月11日	CSIRT 研修（オンライン：技術職員2名）
	12月18日	NII-SOCS インシデント対応研修（オンライン：専任教員）
	12月25日	文部科学省脆弱性診断報告会（オンライン）
2021 年	1月4～8日	TOPIC 臨時総会（Web フォーム回答）
	1月8日	PC 実習室予約システム試験稼働
	1月21日	ネットワークシステム運用定例会（ウェブ会議）
	3月10～18日	文部科学省 CTF（Capture The Flag）参加（オンライン：技術職員）
	3月11～12日	文部科学省脆弱性診断研修（オンライン：技術職員）
	3月17日	情報基盤システム定例会

令和3年度

2021 年	4月7日	授業開始（座席間隔1m）
	4月12日	座席間隔2mへ
	4月15日	施設見学→講義に変更（教育文化学部・25名3グループ）
	4月15日	ネットワークシステム運用定例会
	4月21～22日	TOPIC 総会，講演会（オンライン：専任教員・総括主査）
	5月11日	試験時のみ座席間隔1mへ
	5月13日	情報基盤システム定例会
	6月14日	第2クォーター期間についても，座席間隔2m（試験時は1m）現状維持
	6月22日	NIPC 総会，講演会（オンライン：センター長・専任教員）
	6月22日	国立大学法人情報系センター協議会幹事会（総括主査）
	7月7～8日	NII オープンフォーラム（オンライン：専任教員）
	7月8日	情報基盤システム定例会
	7月15日	ネットワークシステム運用定例会
	7月16日	TOPIC 幹事会（オンライン：専任教員）
	7月31日	オープンキャンパス（オンライン）
	8月8日	夏季休業（9/26まで）
	9月15～16日	TOPIC 秋の研修会（オンライン）
	9月16日	情報基盤システム定例会
	9月17日	情報処理センター等担当者技術研究会（オンライン：技術職員）
	9月21～22日	情報化要員研修（オンライン：技術職員）

	9月27日	後期授業開始
	9月29日	セキュリティセミナー
	10月6～8日	CISO マネジメント研修
	10月9日	オンラインオープンキャンパス
	10月18日	離席間隔緩和
	10月21日	ネットワークシステム運用定例会
	10月29日	MATLAB セミナー（オンライン）
	11月1日	予約制自習開放開始（PC 実習室1のみ）
	11月11～12日	松山ディペンダビリティワークショップ（DW@M2021） （愛媛県松山市：専任教員）
	11月19日	令和3年度文部科学省関係機関最高情報セキュリティ責任者（CISO）会議
	11月23～26日	国際会議（オンライン：専任教員）
	11月29～30日	国立大学法人等情報化要員研修（Office365 構成と管理） （オンライン：技術職員）
	12月1日	予約不要の自習利用開始
	12月10日	北海道・東北地区情報処理センター等技術担当者情報交換会（オンライン：技術職員）
	12月15日	1月の授業実施方法について現状維持（離席間隔緩和のまま）
	12月16～17日	文部科学省関係機関情報セキュリティ監査担当者研修 （基礎編）（オンライン：技術職員）
	12月25日	冬季休業（1/5まで）
2022年	1月14日	1月17～23日まで遠隔授業により実施
	1月20日	1月24日以降も遠隔授業を継続（試験時のみ座席間隔1mにより実施可）
	2月9日	春季休業（4/3まで）
	2月18日	TDNOG（オンライン）
	3月18日	情報基盤システム定例会

● 編集後記 ●

昨年度から続く新型コロナウイルスの世界的な流行によって、社会活動が大きく制限されてきました。秋田大学を取り巻く環境もまた、さまざまな制限を余儀なくされることとなりました。このような流れの中で、情報統括センターも PC 実習室が利用できなくなるなど、表面上は停滞していた部分もありましたが、情報を取り巻く環境は新たに進歩した側面も見られました。

学生の遠隔講義・職員の在宅勤務が推奨される中で、対面授業や会議はオンラインに移行し、紙の資料は電子データに置き換わるなど、情報リソースが最大限に利用されることとなりました。テレビ会議システム・動画配信・チャット（Teams など）は以前からあった技術ですが、コロナ禍で必要に迫られた結果、爆発的に普及することになりました。この流れはコロナ禍の一過性のものである側面もありますが、パンデミックが収まっても新しい情報活用として、一定の割合で利用され続けるものであると期待できます。

以前から議論されてはいたものの、実現できていなかったことがコロナ禍で一気に加速した事例もあります。全ての学生が自分のノート PC を授業で使用する PC 必携化は、以前から一部の国立大学では行われていましたが、本学ではサポート体制への不安などからなかなか実現には至っていませんでした。しかし、遠隔講義への必要性から令和 3 年度の新入生から PC 必携化が実現しました。これにより学生の情報活用がより進んでいくことが期待されます。また、大体育館への Wi-Fi アクセスポイント設置は何度も検討されていましたが、公道を挟むという工事への諸問題がありこれまで実現していませんでした。しかし、令和 2 年度の卒業式が大体育館から動画配信することが決まり、これに後押しされる形でアクセスポイントの設置が実現しました。大体育館は災害時の避難所としても考えられている場所であり、Wi-Fi の活用は地域貢献にも気体できます。

このように新型コロナによる社会への影響は、情報技術を新たに考え、発展するきっかけにもなりました。パンデミックの先に秋田大学の情報環境がより豊かなものになることを願いつつ編集後記とさせていただきます。

情報統括センター 技術専門職員
鷲谷 貴洋

秋田大学情報統括センター広報 24 号

2022 年 3 月 31 日発行

編集者 秋田大学情報統括センター

発行者 秋田大学情報統括センター

〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1

電話 018-889-2499 (ダイヤルイン)

FAX 018-889-3381

E-mail gipc@gipc.akita-u.ac.jp

URL <https://www.gipc.akita-u.ac.jp>



秋田大学
Akita University

秋田大学情報統括センター広報 24 号

2022 年 3 月 31 日発行

編集者 秋田大学情報統括センター

発行者 秋田大学情報統括センター

〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1

電話 018-889-2499（ダイヤルイン）

FAX 018-889-3381

E-mail gipc@gipc.akita-u.ac.jp

URL <https://www.gipc.akita-u.ac.jp>